

一般質問議題

令和8年西尾市議会6月定例会

令和8年6月3日分

質問順位	1	議席番号	22 番	氏名	磯部 雅弘	答弁を 求める者
1	これからの選挙に求めること					市長
(1)	令和5年9月以降の選挙を振り返る					選挙管理委員会委員長
ア	令和6年10月27日執行の衆議院議員総選挙、令和7年6月15日執行の西尾市長・市議会議員一般選挙、令和7年7月20日執行の参議院議員通常選挙、令和8年2月8日執行の衆議院議員総選挙において、どのような課題があったと認識しているか。					
イ	令和5年9月以降の選挙における、それぞれの選挙費と、国、県、市の負担割合はどのようか。					
(2)	期日前投票所の増設を求める					
ア	期日前投票者の総数と増減についてどのようか。また、曜日別の傾向はあるか。					
イ	期日前投票所の混雑状況について、選挙管理委員会としてどのように捉えているか。					
ウ	期日前投票所の増設は避けて通れない課題と考えるが、今後の方向性をどのように考えているか。					
(3)	投票時間繰上げを求める					
ア	期日前投票所の増設が進めば、当日の投票時間繰上げの実現可能性が高まると考えるが、選挙管理委員会としてどのように考えているか。					
イ	市職員の働き方改革、行財政改革の観点から、投票時間繰上げは大きなメリットがあると考えますが、総合政策部としての見解はどのようか。					
ウ	期日前投票所の増設と投票時間繰上げを一体で進めることで、投票機会の確保、市民利便性の向上、行財政改革、職員負担の軽減、開票結果の早期化など、多くの課題が同時に解決すると考える。選挙管理委員会として、この2つを同時に進める意思があるか。					

質問順位	2	議席番号	5 番	氏名	渡辺 将司	答弁を 求める者
1	鳥獣害対策の強化について				市長	
(1)	直近数年間における鳥獣による農作物被害額の推移はどのようなようですか。					
(2)	鳥獣を寄せないための対策として、どのような取組を行っていますか。					
(3)	防護柵設置に対する補助制度はどのようなようですか。					
(4)	本市における猟友会の会員数の推移及び年齢構成はどのようなようですか。					
(5)	猟友会の新たな担い手の確保・育成に向けて、免許取得等に必要な経費の2分の1以内の補助を実施していますが、全額補助にする考えはありませんか。					
(6)	市が所有する箱罟の保有数と稼働率、捕獲数はどのようなようですか。					
(7)	イノシシ等の捕獲に対して支払われる報酬は国費、県費を含めどのようなようですか。					
(8)	猟友会に対し、捕獲業務を正式に事業として委託し、計画的に捕獲を推進していく考えはありませんか。					
2	緊急車両の処分における官公庁オークションの活用について				市長	
(1)	緊急車両の更新時の処分方法について、現在の手法とその実績はどのようなようですか。					
(2)	緊急車両の処分で官公庁オークションを活用した場合と、従来の売却方法を比較した際のメリット・デメリットについて、どのように認識していますか。					
(3)	今後、本市として緊急車両の売却に積極的に官公庁オークションを活用していくことを考えませんか。					
3	通学路の草刈りについて				市長	
(1)	通学路の草刈りについて、現状どのような基準と優先順位で対応していますか。				教育長	

(2) 通学路の草刈りに充てられている予算はどの程度ですか。また、対応に当たる職員数や体制はどのようですか。			
(3) 昨年度における通学路の草刈りの依頼件数と、そのうち実際に対応した件数、及び対応までに要した期間はどのようですか。			
(4) 教員による通学路の点検や危険箇所の把握は、どのように行われていますか。			
質問順位	3	議席番号 14 番 氏名 ささき えみ	
1 自主設計の促進を			市長
(1) 令和7年度中に外部委託した建築に関する基本設計と実施設計の件数等の詳細はどのようか。			
(2) 市で設計を行った建物の件数等の詳細はどのようか。			
(3) 設計業務を自主設計で行うことで、歳出の削減と積算スキル向上につながるため、実施数を増やしていかないか。			
2 持続可能な西尾市民病院であり続けるために			市長
(1) 市民病院の位置付けについて			
ア 公立病院の最大の役割は、民間病院では採算が合わず、提供が難しい「不採算医療」を提供し、市民の命を守ることだと思いが、どうか。			
イ 災害時における市民病院の役割についてどのように考えるか。			
ウ 政府は、2027年度の「新地域医療構想」の開始までに、全国の病床数を11万床削減する計画を進めているが、本市の状況はどうか。			
エ 市民病院の赤字は一般会計からの繰入れにより補填されるが、これは単なる穴埋めではなく、「市民が安心して暮らすためのコスト」だと考えるがどうか。			
(2) 市民病院の現状と改善策について			
ア 令和8年6月に診療報酬の改定がなされるが、これによる影響をどう考えるか。			

イ 令和7年度に、市民病院の医師が補充されたことによる経営状況の変化について伺う。			
ウ 公立病院における人件費比率は50～55%未満が健全な目安とされており、54.5%はその範囲内であるが、資本費比率についてはどのようなか。			
エ 職員のモチベーションアップにつながる仕組みを検討して危機を乗り越えたいとあったが、具体的な取組はあるか。			
オ 自動心臓マッサージ器ルーカスについて、消防が4つ所有しているが、病院にはないのはなぜか。			
カ 令和6年度決算の繰入れ総額は19億5,887万3,000円で、そのうち法定繰入金金は約16億円であり、4億円程多い。しかし、これは経営改善に必要な取組にかかる経費だと考えるがどうか。			
(3) 仮に市民病院が直営でなくなる場合について			
ア 直営でなくなった場合、職員は分限免職となり、市は退職金を支払う必要があるがどのように対応すると想定しているか。			
イ 直営でなくなったとしても、政策的医療交付金の支払いは必要になり、一般会計からの繰り出しは行われると思うがどうか。			
ウ 直営でなくなると、経営の詳細が不透明になることが懸念されるがどうか。			
エ 直営をやめて外部に委託するには、病院の建て替えや設備の入替えは必須だと考えるがどうか。また、市が病院の建て替えをする場合、どれくらいの予算が必要だと考えるか。			
(4) 市民病院の今後の在り方について			
ア 西尾市民病院在り方検討委員会が設置され、令和9年1月には答申を出すという予定だが、令和8年6月に診療報酬改定が実施されるため、それ以前の情報を根拠にした答申にどれだけの意味があるのか疑問である。改定後の数字を確認してから検討すべきだと考えるがどうか。			
イ 指定管理者制度を導入している自治体に職員を派遣し、本市との違いを学ぶことによって、指定管理の実務上の長所と短所を確認できると考える。また、指定管理をしない場合にも市民病院の改善に生かせると考えるため、職員の派遣研修を行うことを検討しないか。			
質問順位	4	議席番号 2 番 氏名 山市 志保	答 弁 を 求める者
1 要支援家庭に対する本当に必要な支援の実現を			市 長
(1) ひとり親家庭等日常生活支援事業の利用者が少ない要因をどのように分析しているか。 また、市内のひとり親世帯数を把握するため、定期的な推計を行う考えはあるか。			

<p>(2) ひとり親やDV被害者の相談時間が平日9時～16時に限られている現状について、市として実態に合っていると考えているか。</p>				
<p>(3) 子育て世帯訪問支援事業において、利用者が特定の委託先に大きく偏っている状況を、市はどのように認識しているのか。 また、委託先ごとに支援内容や委託単価が異なる中で、利用者に対して適切なマッチングが行われているか。</p>				
<p>(4) 子育て世帯訪問支援事業やひとり親家庭等日常生活支援事業の利用実態を、市としてどのように評価しているか。</p>				
<p>(5) 支援が必要な家庭に制度が届いていない「届かなさ」を防ぐため実態把握が必要と考えるが、市としてどのように強化していくか。</p>				
<p>2 有機フッ素化合物PFASについて</p>				
<p>(1) 神戸市では、PFOS・PFOAについて国の水質基準とは別に、管理の目安となる独自の管理値(監視強化値)を設定している。こうした先行自治体の取組について、把握・認識しているか。</p>			市長	
<p>(2) 神戸市や宝塚市では、PFASに関する情報提供を分かりやすく整理し、過去の検査結果も一目で確認できるよう、積極的な情報公開を進めている。本市においても、市民が状況を正しく理解できるよう、より分かりやすい情報公開を強化すべきと考えるが、市の見解はどうか。</p>				
<p>(3) 数値が悪化した場合の対応フローや判断基準を定めたマニュアルを作成すべきと考えるが、市の見解はどうか。</p>				
質問順位	5	議席番号 18 番	氏名 中村 なおゆき	答弁を 求める者
<p>1 地域コミュニティの持続可能性と、多文化共生時代における町内会機能の再構築について</p>			市長	
<p>(1) 町内会の現状認識について</p>				
<p>ア 本市における町内会加入率の推移をどのように分析しているか。</p>				
<p>イ 高齢化や役員の担い手不足について、市はどのような課題認識を持っているか。</p>				
<p>ウ 外国人住民が多く居住する地域や集合住宅について、実態把握は行っているか。</p>				
<p>エ 外国人住民増加に伴う地域課題として、どのような相談や苦情が寄せられているか。</p>				
<p>(2) 災害時の安否確認及び防災体制について</p>				

ア	町内会機能が低下または解散した地域において、災害時の安否確認や避難支援をどのように行う考えか。
イ	外国人住民への避難情報伝達について、多言語対応はどのように行っているか。
ウ	外国人住民向けの防災訓練や啓発活動の実施状況はどのようなか。
エ	要支援者名簿や避難行動要支援者制度について、町内会機能が低下した地域ではどのように対応していく考えか。
(3) 生活ルール及び地域トラブルへの対応について	
ア	ごみ出し、騒音、駐車、共有スペース利用等に関する地域トラブルについて、本市はどのように把握しているか。
イ	外国人住民への生活ルール周知はどのように行っているか。
ウ	多言語化されたごみ分別案内の整備状況はどのようなか。
エ	外国人住民、日本人住民双方からの相談窓口体制はどうなっているか。
(4) 町内会機能の見直しと行政支援について	
ア	従来型の町内会運営について、市は持続可能性をどのように考えているか。
イ	ごみ管理、防犯灯、防災等、「最低限必要な地域機能」を維持するため、市はどのような支援を考えているか。
ウ	回覧板中心の情報伝達について、デジタル化やLINE等の活用を検討しているか。
(5) 企業・管理会社等との連携について	
ア	外国人住民が多い集合住宅において、管理会社との連携状況はどのようなか。
イ	外国人を雇用する企業に対し、生活ルールや防災情報周知への協力を求めているか。
ウ	地域住民だけに負担を集中させない仕組みづくりについて、市の考えを伺う。

エ 今後、企業・管理会社・地域・行政が連携した支援体制構築を進める考えはあるか。				
質問順位	6	議席番号 10 番	氏名 山本 栄児	答 弁 を 求 め る 者
1 本市の学校給食の提供方式の在り方について			教 育 長	
(1) 現在、検討している本市の学校給食の提供方式について、検討状況及び今後の進め方はどのようなか。				
(2) 現在自校方式で提供している学校がセンター方式とする場合と、自校方式を維持する場合の長期的なコストの違いはどのようなか。				
(3) センター方式とした場合の衛生管理、アレルギー対応など、子供達への影響はどのようなか。				
(4) 給食提供方式の違いによる地産地消および地元納入業者への影響はどのようなか。				
(5) 保護者説明会及び給食センターでの試食会等で出た保護者の意見をどのように取り扱うのか。				
質問順位	7	議席番号 11 番	氏名 牧 博之	答 弁 を 求 め る 者
1 農業用排水機場の運転と管理について			市 長	
(1) 農業用排水機場の整備状況はどのようなか。				
(2) 農業用排水機場の運転管理における課題はどのようなか。				
(3) 農業用排水機場にはエンジンとモーターを動力とする2種類のポンプが設置されているが、その設置割合はどのようなか。				
(4) 主に重油を燃料とするエンジンポンプの燃料費と、電気によるモーターポンプの電気料の使用状況はそれぞれどのようなか。				
(5) 原油価格の高騰、及び重油の供給不足への対応はどのようなか。				

一般質問議題

令和8年西尾市議会6月定例会

令和8年6月4日分

質問順位	8	議席番号	17 番	氏名	小林 孝幸	答弁を 求める者
1	公道の路側帯等の草刈りについて					市長
(1)	草が生い茂った路側帯を本市はどのように認識をしているか。					
(2)	道路管理が市・県・国で分かれており、市民はどこへ言えばいいのか分からないという声があるが、本市の対応はどうか。					
(3)	草刈り要望が多い中、予算配分の基準はどう決めているか。					
(4)	雑草繁茂による見通し悪化で交通事故が発生した場合、市の管理はどこまで問われるか。					
(5)	環境整備班(草刈り部隊)の活動実態はどのようか。					
2	西尾市LINE公式アカウントのLINE通報システムについて					市長
(1)	現在のLINE通報メニューの令和7年度の通報実績はどのようか。また、新たに追加した通報メニューはあるか。					
(2)	緊急性が高い案件を見分ける体制はあるか。					
(3)	通報件数に対し、実際の改善率はどの程度か。					
(4)	危険と判断する基準が担当者によって異なることはないか。					
(5)	LINE通報システムは、市民と行政をつなぐ市民参加型のツールとして大きな可能性を秘めている。市民参加型の強みを生かし、今後どのような分野へ対象業務を広げていくか。					

質問順位	9	議席番号	3 番	氏名	大須賀 竜也	答 弁 を 求 め る 者
1	三ヶ根山スカイラインの新たな利活用とサイクルツーリズム(自転車観光)の推進について				市 長	
(1)	三ヶ根山スカイラインを観光資源としてどのように認識しているのか。					
(2)	近年の自転車需要の高まりや、サイクルツーリズムが地域経済・健康増進等に与える波及効果をどのように捉えているか。					
(3)	三ヶ根山スカイラインにおける「新たな利活用」の可能性についてどのように考えているか。					
(4)	自動車専用道路である三ヶ根山スカイラインを一時開放して自転車走行を可能にすることで、極めて希少価値が高い状況を作ることができるが、市の見解はどのようなか。					
(5)	三ヶ根山スカイラインを「自転車で走れる場所」として、民間主導のもとまずはモデルイベントとして実施しないか。					
2	消防団員確保に向けた新たな支援制度と地域防災力の維持について				市 長	
(1)	消防団の現状と、団員減少に対する認識はどのようなか。					
(2)	消防団大学生等活動認証制度をどのように捉えているか。					
(3)	消防団大学生等活動認証制度を本市職員採用で活用しているか。					
(4)	消防団応援の店制度の利用状況と制度管理をどのように捉えているか。					
(5)	岩手県大槌町で発生した大規模山火事では、多くの消防団員による人海戦術が消火活動や延焼防止に大きく寄与したと考えるが、市の見解はどのようなか。					
(6)	消防団員を雇用・輩出する企業等への支援の必要性について、市はどのように認識しているか。					
(7)	総務省消防庁が示す消防団協力事業所に対する減免制度や交付金等の支援について、導入を検討する考えはないか。					
(8)	総務省消防庁が示す消防団活動に協力する企業を地域貢献企業として顕彰する表彰制度等を創設する考えはないか。					

質問順位	10	議席番号	7 番	氏名	神田 たかひろ	答 弁 を 求める者
1	外国人住民増加に伴う税・保険制度及び地域課題について				市 長	
(1)	本市における外国人住民の状況について					
	ア 本市における外国人住民数及び総人口に占める割合はどのようか。 また、外国人世帯数について、外国人のみで構成される世帯及び、世帯員のうち1人以上が外国籍である混合世帯の状況はどのようか。					
	イ 過去10年間の外国人人口と、外国人を含む世帯数の推移はどのようか。					
(2)	本市における国民健康保険税、住民税、市営住宅使用料等の滞納状況について					
	ア 市全体の滞納総額及び件数と日本人、外国人別の状況はどのようか。					
(3)	海外転入出者と住民税について					
	ア 住民税の賦課期日の基準日である1月1日に、海外から本市に転入した場合の住民税の賦課はどのようになるか。					
	イ 本市から海外に転出した場合はどのようになるか。					
(4)	滞納が発生した場合の対応について					
	ア 滞納が発生した場合の対応はどのようか。また、外国人住民に対して言語や制度理解の面で特別に行っている対応はあるか。					
	イ これから未収金リスクや徴収困難事例の増加も考えられる中で、現行の周知体制や制度運用のままで十分であると考えているか。また、今後どのような未納防止対策や、制度周知の強化を考えているか。					
(5)	国民健康保険税の「前納制度」について					
	ア 本市としてどのように受け止めているか。また、今後導入を検討する考えはあるか。					

2 町内会解散における市の対応について	市 長
(1) 2024年と2025年に、2つの集合住宅の町内会(治明団地、新在家新町)が解散となった。それ以降、町内会が解散、または活動休止となった事例はあるか。また、過去5年間の町内会数の推移はどのようなか。	
(2) これまで地域で担っていた業務のうち、町内会が解散したことにより、市が新たに対応することになったものはあるか。	
(3) 町内会の加入率低下や、解散が進むことにより、ゴミステーションの管理、防災、防犯、地域行事などにどのような影響があると考えているか。	
(4) 町内会の負担軽減や持続可能な地域運営に向けて、どのような支援策を検討しているか。	
3 西尾市障害者扶助料の停止・減額後の経過について	市 長
(1) 障害者扶助料の停止・減額に伴う問合せについて	
ア 「市民の声」制度において、扶助料の停止・減額に関する意見や相談は寄せられているか。また、相談があったのであればその内容及び対応状況はどのようなであったか。	
イ 扶助料の停止・減額について、対象となる当事者及び、その家族に対して、いつ、どのような手段で周知・通知を行ったか。また、制度変更にあたり、丁寧な説明や理解推進にどのように努めたか。	
ウ 扶助料の停止・減額について、国・県・その他関係機関(行政相談)等から改善や配慮を求める意見、または問合せはあったか。あったのであれば、その際の対応はどのようなであったか。	
(2) 「障がい者生活支援給付金」について	
ア 扶助料停止・減額対象者に対し、激変緩和措置として「障がい者生活支援給付金」が設けられたとの事であるが、その制度内容はどのようなか。	
イ 「障がい者生活支援給付金」は、市のホームページで「令和9年度も減額分の一部を支給する予定」と記載があるが、令和9年、10年、11年、12年と、来年度以降はどのように考えているのか。	
ウ 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を障害福祉サービスに活用することはできないか。	
エ 結果として、当事者へ直接支給されていた扶助料を削減・減額し、その一方で福祉サービス事業者側への補填を優先したようにも受け取られかねない。本市として、こうした受止めに対してどのように考えているか。	
オ 削減・減額した障害者扶助料について令和8年3月以前の基準に戻す検討をする考えはないか。	

質問順位	11	議席番号	12 番	氏名	杉浦 こうき	答 弁 を 求める者
1	にしおマラソンの具体的な財源縮減策の提示を				市 長	
(1)	令和8年度予算では、市からマラソン実行委員会へ1億円もの補助金が計上されているが、3月定例会で「今のままでは持続的な開催は難しく、財源の縮減に数値目標を持たせる」旨の市長答弁があった。その後に開催された会議で市長から数値目標について発言があったと聞かすが、内容はどのようなか。					
(2)	全国で実施されるフルマラソンについて、予算等情報の把握状況はどのようなか。					
2	新たに導入された公共施設マネジメントシステムを活用するために				市 長	
(1)	システム導入に伴い公共施設白書の内容が更新されたが、変更点等はどのようなか。					
(2)	「システムを活用することで市の全体的なコスト集計も可能になるため、全体的なランニングコストの把握を進める」旨の答弁が令和7年9月定例会であったが、その結果はどのようなか。					
(3)	施設の大分類別に、収入と支出の状況はどのようなか。					
(4)	採算性の低い部門を担う公共施設にあっても、施設ごとに利用者数や収支目標を設定し、目標未達となる施設については縮小や廃止も視野に入れた議論をしていかなければ、人口減少社会に対応できないと考えるが、どうか。					
3	適切な人材配置と人事評価を				市 長	
(1)	職員配置・評価について、取組の方向性はどのようなか。					
(2)	職員配置はどのように差配されているのか。					
(3)	職員の働きぶりの評価手法はどのようなか。					
(4)	意欲や能力を有する職員がより報われる制度とすべきと考えるが、どうか。					

質問順位	12	議席番号	16 番	氏名	山本 道代	答 弁 を 求める者
1	地域とともにある学校づくりについて				教 育 長	
(1)	国の方針であるコミュニティ・スクールについて、本市はどのように考えているか。					
(2)	本市におけるコミュニティ・スクールの導入状況はどのようなか。					
(3)	近隣市町におけるコミュニティ・スクールの導入状況はどのようなか。					
(4)	コミュニティ・スクールの運営にあたり、本市としてどのように進めているのか。					
(5)	今後のコミュニティ・スクールの展開のスケジュールはどのようなか。					
(6)	学校・地域・行政の連携体制はどのようなか。					
(7)	子どもたちにどのような力を育み、地域社会をどのような姿にしていくことを目指しているか。また将来像はどのように考えているか。					
2	多世代が交流できる地域の居場所づくりの推進について				市 長	
(1)	近年、少子高齢化や単身世帯の増加、地域コミュニティの希薄化が進む中、孤立やフレイル、認知症のリスクが高まっていると考えるが、こうした社会背景を市としてどのように認識しているか。					
(2)	本市で実施している居場所づくりの現状はどのようなか。					
(3)	現在の取組における課題と解決策はどのようなか。					
(4)	今後の居場所づくりにおいては、単なる集いの場だけではなく、健康増進や生きがいづくり、世代間交流等の機能を持たせることも重要と考えるが、どうか。					
(5)	今後、居場所づくりをどのように発展させていくか。また多様な団体との連携をどのように進めていく考えか。					

質問順位	13	議席番号	6 番	氏名	細井 まゆみ	答弁を 求める者
1	市営住宅での孤独死後の残留物処理について				市長	
(1)	近年の孤独死の発生件数は何件か。					
(2)	孤独死後の対応はどのように行っているか。					
(3)	身寄りがない方の孤独死の場合、現状どのような法的整理と実務対応を行っているか。					
(4)	原状回復費用や特殊清掃費が市負担となるケースについて、年間どの程度の財政負担が発生しているか。					
(5)	残留物処理に時間を要することで、空室期間が長期化している実態はないか。					
(6)	現行の孤独死への対応制度についてどのように認識しているか。					
(7)	孤独死した場合に関する本市独自の条例を制定しないか。					
2	西尾郵便局南北に広がる市街化区域の都市基盤整備について				市長	
(1)	農地形状のまま、市街化区域に編入した経緯はどのようなか。					
(2)	道路、公園、排水など都市基盤整備の現状について、市はどのように認識しているか。					
(3)	幅4メートル程度の細街路、袋小路、旗竿地が集中している現状について、防災上・避難上の課題認識はあるか。					
(4)	排水路について、草刈、泥上げ、悪臭対策として蓋や法張りなど、地域住民の負担軽減に向けた支援や取組を検討すべきではないか。					
(5)	町内会で清掃を行っている排水路について、町境などでの清掃主体が曖昧になりやすい箇所について、市が主体的に調整・改善を進める考えはあるか。					
(6)	市街化区域内で徴収している都市計画税について、これまでどのような都市基盤整備に活用してきたか。					

(7) 道路や水路、公園などの都市基盤整備を一体的に進める整備計画を立てないか。			
質問順位	14	議席番号 28 番	氏名 前田 修
1 公的責任を果たせる市民病院に			市長
(1) 令和8年度中に、市民病院の経営形態見直しの方向を定めたいとしている。直営を民間に委ね、収支の好転を目指すとなれば、不採算部門の切り捨て、人員削減なども想定される。西尾市にとって、不採算だが大事な診療科目は何か。これらを切り捨てることは考えてないことを明言できるか。			
(2) 公営企業法一部適用から全部適用への検討もされるが、市民病院が、これまで一部適用で取り組んできたのはなぜか。全部適用にすることのデメリットは何か。			
(3) 西尾市民病院の規模で、指定管理者制度を導入している公立病院の割合は多くないと推察するが、どれほどか。また、3月定例会の一般質問で「あま市民病院が、地域医療振興協会への指定管理者制度で財政的に成果を上げている。」という議員発言があったが、市はどのように認識しているか。			
(4) 一般論として、市民病院の会計状況について市民に誤解を与えていると思う。現在の累積赤字などが、独立採算制の会計であるがため、また、報酬改定が経費に追い付いていないことなどを分かりやすく市民に説明する必要があるのではないか。			
(5) 市民病院の会計状況について、3月定例会の一般質問で「自己資金が1.3か月分ではレッドゾーン」「資金がショートする」という議員の発言があったが、月ごとの支出・収入はどれほどか。公立病院の資金繰りの現状をどう考えるか。			
(6) 病院の職員のがんばりで病院会計が好転していると考えますが、どうか。経営形態の見直しを検討しようとする市の姿勢は、職員のモチベーション低下につながらないか。			
(7) 碧南市との協議はどう考えているか。			
2 松枯れ対策について			市長
(1) 佐久島は白砂青松と言われ、保安林などに松が多く観光面からも大切にされてきたが、松枯れによる減少が激しい状況に落胆する市民の声もある。松枯れに対する市の対応はどのようであったか。			
(2) 松枯れとなった松の処分方法は、くん蒸・破砕・焼却などの対策を講じる必要があるが、どのような処理をしてきたか。また、今後は、どのような対策をとる考えか。			
(3) 佐久島の保安林を維持・継続するための課題は何か。また、維持するための具体的な手立てを考えないか。			
3 駅の自転車駐輪場の整備・拡充を			市長
(1) 各駅前の駐輪場は、利用台数に比べ、面積が狭いことから密集して置かれ、結果、利用しにくい状況にある。名鉄に駐輪場の拡充を要請すべきと思うがどうか。また、必要な箇所については市が拡充することも必要と思うがどうか。			

<p>(2) 放置自転車により駐輪場を狭めてしまうことのないよう、放置自転車の調査と撤去の実施回数を増やさないか。</p>	
<p>(3) 駐輪場の一定部分を障がい者や高齢者専用のスペースとして確保しないか。</p>	
<p>(4) 西尾駅東の駐輪場が整備されたが、置き場のピッチが狭く、利用者から使いにくいとの声がある。改善できないか。</p>	
<p>4 公共施設再配置と自治基本条例について</p>	<p>市 長</p>
<p>(1) 公共施設再配置等検討委員会で、施設の適切な量と配置が検討されているが、検討状況はどのようなか。</p>	
<p>(2) 現在、行われている幡豆地区住民に対する説明会の状況はどのようなか。</p>	
<p>(3) 再配置をすすめるにあたっては、住民の合意が大切だと考えるが、住民合意を得る手法・手続きについて明文化しないか。他市では、「自治基本条例」を定め、市民参加について明記している自治体もあるが、自治基本条例に類するものの策定を検討しないか。</p>	

一般質問議題

令和8年西尾市議会6月定例会

令和8年6月5日分

質問順位	議席番号	氏名	答弁を 求める者
15	1 番	くろの 拓海	
1 工事・建設コンサルの入札について			市長
(1) 予定価格の設定について、どのような算定方式となっているか。			
(2) 最低制限価格での落札実績が、工事で令和7年度に16件、令和8年度に5件発生しているが市の見解はどのようなか。			
(3) 最低制限価格での落札実績が、建設コンサルで令和7年度に36件、令和8年度に6件発生しているが市の見解はどのようなか。			
(4) 最低制限価格の予測が容易であれば、競争性が失われると考えられるがどのように考えるか。			
(5) 価格競争を促すために、最低制限価格の設定について見直すべきだと考えるがどうか。			
2 不用品の販売で新たな財源確保を			市長
(1) 不用品を活用した財源確保で、市はどのような取組を行っているか。			
(2) 近隣市である蒲郡市を含め81自治体が不用品の販売でメルカリShopsを利用しているが、本市でも導入を検討しないか。			
質問順位	議席番号	氏名	答弁を 求める者
16	8 番	石川 まゆみ	
1 ネーミングライツ等を活用した歳入確保と地域活性化			市長
(1) ネーミングライツ制度の現在の運用状況、制度導入後の成果や課題はどのようなか。			
(2) ネーミングライツ事業について、本市では民間事業者等からの提案を随時受け付けているとのことだが、現在も募集を継続しているか。			

(3) 契約期間について、原則5年から10年となっているが、3年程度の短期間でも導入可能とすることで、企業側も参加しやすくなるか考えるがどうか。		
(4) 高額案件だけでなく、小規模・低額でも参加できる仕組みを増やすことが、地域企業の参加促進につながると考えるがどうか。		
(5) 現在導入されている施設以外にも、歩道橋、図書館、おもちゃ館、中央体育館、総合福祉センター、クリーンセンターなどについて、今後導入する可能性はあるか。		
(6) 児童館は18歳まで利用可能であるが、「児童館」という名称から中高生にとって利用しづらい印象につながっている面もあると感じる。市として現在の名称や利用状況をどのように認識しているか。		
(7) 企業から協賛・出資を募りながら、高校生や専門学校生、大学生などから広くデザインを募集し、産学連携や地域連携による「西尾らしいマンホール」を制作してはどうか。		
(8) 大手門広場については、市民に親しまれる愛称をつけること、維持管理・にぎわい創出への民間参加という観点から、企業協賛やネーミングライツなどを取り入れる考えはあるか。		
2 公用車のカーシェア活用について		市長
(1) 本市における公用車の保有台数について伺う。また、電気自動車、ハイブリッド車、ガソリン車などの内訳はどのようなか。		
(2) 公用車の稼働率はどのようなか。		
(3) 公用車に搭載されているカーナビについて、搭載台数・地図更新状況・更新費用・テレビ受信機能の有無はどのようなか。		
(4) 休日など使用していない時間帯に、公用車をカーシェアとして活用する可能性を検討してはどうか。		
3 民間的視点の習得、課題解決力の向上を目指した市政経営に向けて	市長	
(1) 本市の職員が数カ月または数年、民間企業等へ出向し、売上・利益を生み出す実務や経営感覚を学ぶ機会を設けることについて、本市の考え方を伺う。	教育長	
(2) 教職員においては、社会経験を積んだほうが保護者からの信頼も得やすいと考えるが、数カ月規模の出向を積極的に推進する意向はあるか。		
(3) 出向の対象となる職員や、望ましい期間、受入先企業の選定基準について、どのように考えるか。		
(4) 人事体制、職員の負担、復帰後の処遇などと、その対応策について見解を伺う。		

質問順位	17	議席番号	4 番	氏名	藤田 秀徳	答 弁 を 求 め る 者
1 矢田わくわくこども園の運営と今後の保育行政の方向性について						市 長
(1) 矢田わくわくこども園が開園に至った経緯はどのようなか。						
(2) 公立園と民間園の特徴や違いはどのようなか。また、民間園である矢田わくわくこども園の公立園との具体的な違いや特色はどのようなか。						
(3) 矢田わくわくこども園開園後の成果はどのようなか。						
(4) 矢田わくわくこども園の保育の質を担保するための市の支援はどのようなか。						
(5) 今回の民設民営化をどのように評価しているか。						
(6) 保育行政の現状と課題をどのように認識し、今後の保育行政にどのように生かしていくのか。						
質問順位	18	議席番号	13 番	氏名	牧 一心	答 弁 を 求 め る 者
1 離婚後共同親権制度の施行に伴う学校現場への対応について						教 育 長
(1) 離婚後共同親権制度に関する法務省のQ&A及び関連通知の内容について、各学校の校長、教頭への周知状況はどのようなか。						
(2) 施行後、保護者または学校現場から教育委員会へ共同親権に関する問合せや相談は発生しているか。						
(3) 共同親権下において父母間に対立がある場合、学校は別居親への情報提供、学校行事への参加、緊急時の児童・生徒の引渡し等について、どのような基準で判断・対応をするのか。						教 育 長
2 不登校児童生徒への学校外での学習支援と成績評価の反映について						
(1) 直近3年間における小・中・義務教育学校の市内不登校児童生徒数の推移はどのようなか。						
(2) 令和6年8月に不登校児童が欠席中に行った学習の成果を、成績評価へ考慮できることとなった学校教育法施行規則等の改正を受けて、学校及び教育委員会は周知、ガイドラインの整備をしているのか。						

(3) ICT等を活用した自宅学習を指導要録上出席扱いとした児童・生徒はいるのか。また、制度の活用促進に向けた課題をどのように認識しているか。				
(4) 学校外での学習に対し、成績評価の反映に向けた今後の対応方針についてどのようなか。				
3 健康マージャンを活用した介護予防の推進について				市長
(1) 市内において、介護予防や通いの場として健康マージャンを取り入れている活動グループ・団体をどの程度把握しているか。				
(2) 認知症予防・閉じこもり防止の観点から、高齢者サポートセンターや活動団体に対して、介護予防プログラムの一つとして明示的に位置づけ、活動支援を強化する考えはあるか。				
(3) 市内で健康マージャンが行われている現状において、活動できる場所は充足していると考えているか。また、新たに活動を始めたいグループや参加者の増加に対応するため、活動場所を追加して提供できる公共施設等の余地はあるか。				
(4) 健全な健康マージャンイベントを開催したい主催団体にとって、どのような運営形式であれば適法に開催できるのか。				
質問順位	19	議席番号 21 番	氏名 藤井 基夫	答弁を 求める者
1 沿岸部の環境保全と安全について			市長	
(1) 一色町生田地区の産業廃棄物最終処分場問題の現状はどのようなか。				
(2) 一色町細川地区にあるミロク開発株式会社の産業廃棄物最終処分場の現状はどのようなか。				
(3) 市が管理する一般廃棄物最終処分場の維持管理状況はどのようなか。				
(4) 太陽光発電施設の設置に際して、市はどのように関与するのか。				
(5) 堤防の老朽化が見受けられるが、市として現状をどのように認識しているか。				
2 西尾市の漁業、水産業について			市長	
(1) 漁業、水産業の種別割合を把握しているか。				

(2) アサリ漁、ノリ養殖、養鰻、漁船漁業の現状や生産額を把握しているか。				
(3) アサリ漁、ノリ養殖、養鰻、漁船漁業のそれぞれとどのように関与しているか。				
(4) 三河湾の水質改善に向けた下水処理施設の栄養塩管理運転に対する市の認識はどのようなか。				
(5) 三河湾の水質改善に向け、県との連携や市独自の対応策などの考えはあるか。				
質問順位	20	議席番号 19 番		氏名 中根 文彦
1 西尾市における夏の「猛暑・酷暑」対策について			市 長	
(1) 猛暑から市民の命を守る熱中症対策について			教 育 長	
ア 本市における過去5年間の熱中症救急搬送者数の推移をどのように分析しているか。				
イ 熱中症発生場所について、自宅・屋外・学校・職場等の傾向を把握しているか。				
ウ 熱中症救急搬送者数に占める65歳以上の割合をどのように認識しているか。				
エ 猛暑を「災害級リスク」として地域防災計画へ位置づける考えはあるか。				
オ クーリングシェルターの箇所数や利用状況、改善課題をどのように把握しているか。				
カ 屋外イベント開催時のWBGT基準を導入する考えはあるか。				
キ 町内会、自主防災会、西尾ゆうあいクラブ等と連携した地域見守り体制をとっていく考えはあるか。				
(2) 高齢者を守るための熱中症予防対策について				
ア 独居高齢者への熱中症予防の声かけ体制はどのようなになっているか。				

イ 高齢夫婦世帯の熱中症リスクをどのように考えているか。	
ウ 民生委員や高齢者サポートセンターとの情報共有体制は十分か。	
エ 高齢者が「暑さを我慢すること」を防ぐため、どのような啓発を行っているか。	
オ 自宅内での熱中症発生防止策を強化していく考えはあるか。	
(3) 子どもを守る暑さ対策について	
ア 市内小・中・義務教育学校におけるWBGT測定器の配置状況はどうか。	
イ 体育、部活動、登下校における活動制限基準は統一されているか。	
ウ 夏季休業中における部活動時間帯はどのようになっているか。	
エ 猛暑、酷暑を災害と捉え、通学路の日陰不足や危険箇所調査を行う必要性はないか。	
オ 児童生徒の給水・休憩指導をどのようにしているか。	
カ 特別教室等の空調整備状況はどうか。また、給食室等関連施設の空調整備状況はどうか。	
キ 保育園・認定こども園・幼稚園で行う園庭活動や散歩活動における暑さ対策はどのようか。	
(4) 公共空間における暑熱環境対策について	
ア 猛暑、酷暑が常態化している中、先を見据えた街路樹やシェード整備を重点的に進める考えはあるか。	
イ 今後の対策として、通学路や公共施設周辺への遮熱舗装導入を検討する考えはあるか。	
ウ 現状の公園における日よけ、ミスト、給水設備の整備はどうか。また、今後整備していく公園については暑熱対策を織り込む考えはあるか。	

<p>エ 高齢者利用が多い六万石くるりんバス停への日除け整備または、クーリングシェルター近くへバス停を移動する考えはあるか。</p>	
<p>(5) 労働者を守る暑さ対策について</p>	
<p>ア 農業・漁業従事者への熱中症予防啓発や支援をどのように考えているか。</p>	
<p>イ 建設業等の屋外労働者支援をどのように考えているか。</p>	
<p>2 水資源の安定確保と渇水対策について</p>	市 長
<p>(1) 渇水が発生した場合、本市の浄水場及び配水池の容量を踏まえ、通常使用量ベースで理論上何日分の給水を維持できるか。</p>	
<p>(2) 本市の水道は給水量の約87%を県営水道に依存しているが、県全体の渇水や施設トラブルの影響を受けやすい構造について、どのように認識しているか。</p>	
<p>(3) 本市は水利用の多い農業地域であるが、渇水による農業用水不足が農業生産額に及ぼす影響をどのように考えているか。</p>	
<p>(4) 本市の地下水資源の保有状況と渇水時の活用の可能性をどのように考えているか。</p>	
<p>(5) 気候変動に伴う渇水リスクを踏まえ、本市独自の長期的な水資源確保戦略をどのように考えているか。</p>	